

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和5年10月5日（木）

【報告事項】

1 グループ別警察署長会議の開催について

（総務部）

警察本部から「10月中旬から11月上旬にかけて、県内36警察署を4グループに分けて編成し、グループ別警察署長会議を開催する。会議では、各警察署の取組状況や推進上の課題等について協議し、今後の業務運営に役立てるものである。」旨の報告があった。

2 福岡県の職員の給与等に関する報告及び勧告の概要について

（警務部）

警察本部から「令和5年9月20日、福岡県人事委員会より福岡県の職員の給与等に関する報告及び勧告が行われた。報告の概要は民間給与との較差、勧告の概要は民間給与との較差に基づく給料月額及び期末・勤勉手当の引上げである。給料月額については、初任給を始め若年層に重点を置き、そこから改定率を低減させ、全ての職員の給料月額を引き上げることとする。給与条例を改正後、本年4月に遡及して差額追給される。」旨の報告があった。

公安委員から「給与以外の福利厚生等についてはどのようなものがあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「民間から借り上げた官舎などがあり、希望者は入居の空きがあれば入れるようになっている。」旨の説明があった。

公安委員から「給与以外の魅力があればいいと思う。」旨の発言があった。

3 警察版コミュニケーション支援ボードの寄贈について

（地域部）

警察本部から「明治安田生命保険相互会社が、社会貢献活動の一環として、知的障がいや自閉症の方、外国人、高齢者、幼児等の話し言葉による対話が困難な方とのコミュニケーション支援を目的とした警察版コミュニケーション支援ボードを7年ぶりに改訂し、同社から各都道府県警察へ寄贈される。パトカー、交番及び駐在所勤務員に対して、対話が困難な方の届出等に対して適切に対応することができるよう、支援ボードの周知を図ることとしている。」旨の報告があった。

公安委員から「聴覚障がいのある方などに対してどのような対応をしているのか。」旨の発言があり、警察本部から「以前は手話交番があったが、現在は設置されておらず、支援ボードを活用している。また、現状では、外国人への対応の際には携帯型データ端末を活用している。」旨の説明があった。

公安委員から「インバウンドも増えているので、是非活用して欲しい。」旨の発言があった。

4 空き家対象の窃盗事件の捜査終結について

（刑事部）

警察本部から「筑紫野警察署及び捜査第三課は、令和2年3月から令和5年5月までの間、太宰府市内において、現金や貴金属類を窃取する目的で空き家等に侵入したとして、無職の女性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「空き家が増えているのか。」旨の発言があり、警察本部から「空き家

の問題については、県において年に1回連絡協議会を開催するなどして、市町村とともに実態把握に努めている。警察としても市町村との連携強化を図り、空き家情報の共有を進めている。このような事件が発生した際には、警察からも情報提供をしていきたい。」旨の説明があった。

5 ツール・ド・九州2023に伴う警察措置について

(交通部・警備部)

警察本部から、「令和5年10月6日から9日までの間、福岡、熊本及び大分県でツール・ド・九州2023が開催される。本大会における警察措置は、対向車線を含む交通規制の実施、コース進入防止対策の徹底、交通規制の開始に先立ち警備員や資機材等の配置を確認する部隊である「先行確認隊」の運用及びテロ・雑踏対策であり、所要の体制で各種対策に当たる。一般交通への影響を最小限に抑えながら、大会の成功及び各種事故防止に万全を期していきたい。」旨の報告があった。

公安委員から「交通規制はどのくらいの時間行うのか」旨の発言があり、警察本部から「場所によって異なるが、1時間半から2時間半くらいの間である。また、主要交差点については関係車列が通る概ね10分前まで横断だけさせる場合がある。」旨の説明があった。

公安委員から「どのくらいの観客が来ると予想されているのか。」旨の発言があり、警察本部から「主催者発表によると、約12万6千人を予想している。」旨の説明があった。